

できたての給食、おいしい



「今の直営自校方式の学校給食を堅持してください」。岸和田市で取組まれたこの請願署名はわずか40日あまりで6万筆を越えた。署名を力に直営自校給食を守り、さらに給食の充実をめざそうと「学習・報告集会&フォーラム」が1月29日に開催された。催しの案内ビラ・ポスターに協力してくれた山原れいかさん（太田小学校2年生）が、今月の表紙の人。



2005年2月15日 No.193

発行  大阪自治体労働組合総連合

発行人 町田 豊治/編集人 樋口 和弘
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15大阪グリーン会館4F ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

今月号の紙面から

職場はいま「新たな決意で奮闘を—大阪市労組、私の出番「松原市職労・西田浩士さん」(2-3面) / 現地ルポ「大阪府職労—新潟中越地震ボランティア」(4-5面) / 自慢の一品「大阪 梅の名所」(6-7面) / さわやかな風「岸和田市職労—山原真智子さん」

平成2年9月12日第3種郵便物認可 毎月15日発行 (一部10円) 組合員の購読料は組合費に含まれています。



193

岸和田市職労
山原 真智子さん

今月のさわやかさんは、表紙を飾った山原れいかさんのお母さん。岸和田の学校給食調理員だ。昨年の12月議会で市教委は「民間委託を検討する」と聞き、「それはない！」と怒りを込めて署名にビラ配布にと、市民とともに直営自校の給食を守る活動を展開中だ。

タレなどソースはすべて手作り。全行程、包丁を使った手切りは府下でも数少なく、ごはんは2時間以内、おかずは30分以内で食べられるよう、仕上がりを逆算して調理、アレルギーをもつ子どもに対しては除去食も実施している。

献立は、調理員、栄養士、教員、保護者などで構成する献立作成協議会で検討し、充実をはかってきた。昨年からJAさきわだの協力を得て岸和田産「エコ米」も給食で子どもたちにとどけられ、「ごはんがおいしい」と好評だ。

給食充実のための目に見えない関係者の努力とネットワークも民間委託では機能しなくなるおそれがあるし、時間をかけて築きあげた高い水準の給食をいったんくずすと元には戻せない。

「何よりも学校給食は教育の一環。友だちと一緒に食べる楽しさを共有し、食文化をしっかりと身につけるためにも、子どもたちに『安全・安心』のものを食べさせてあげたい。子どもたちの食べる給食をもうけ主義の対象にしたい。委託は反対です」。

この仕事に就いて私は幸せ者、と山原さん。「一見華奢ですが、芯が強く、楽しい人」と仲間からも信頼は厚い



子どもたちが犠牲になるのは反対です

許しません！ 学校給食の民営化

顔が見える、笑顔がある
だから一生懸命になるんです

勤続13年、学校給食では中堅どころになってきた。チームワークが大切な職場で頼られる存在となっているが、「まだまだ不十分」と謙遜する。「単に給食を作るだけではなく、奥が深い。働き始めたときは思ってもみなかったけれど…。それだけにやりがいがある仕事」ときっぱり。

「家では子どもたちと給食の話はよくする。今日はおいしかった、と聞けば、絶対手抜きなんてできません。調理員はみんなそうですが」と小学生を持つお母さんの視点からも安全性、内容は自信を持ってオススメの直営自校方式・岸和田の学校給食だ。

直営自校だからできた 給食の充実

安全性を徹底追求できるのも直営だから。食材ごとにエプロンを替え、作業内容が変わるたびにヒジまで手洗い、消毒。野菜と肉類では包丁とまな板を替えるなど独自のマニュアルを作成し、さら

に調理現場の創意工夫によって全校で安全性が高い調理場のドライシステムを実現（設備改修できているのは24小学校中6校）。各地から実践報告の依頼や見学が相次いでいる。

もう20年以上前に、保護者の要望に応じて夏休み前の短縮授業中の給食を実施。米飯給食導入時には、市職労学校給食分会の要求で委託炊飯（月3回）だけでなく自校炊飯も取り入れ（月1回から現在月5回へ）、今では自校炊飯の時には、玄米ごはんや麦ごはん、季節の炊き込みごはんやピラフとメニューも豊富に。スープは鶏がら、和風出汁もこんぶとカツオで。カレー・ルーや焼き肉の

編集一集一後一記

年度末を迎え定年を待たずして退職する人が目につくが、団塊世代の60歳定年退職が2007年から始まり、毎年毎年大きなかたまりで退職していくという初めの経験だ。後継者の育成を日常的に意識して進めることが求められる。

2005年国際婦人デー大阪集会

「わたしの国の貴いもの
憲法9条—決して武器を持たず、決して殺さない」

2005.3.8(火) 18:30~20:30
森ノ宮ピロティールホール
(保育あります。申し込みは実行委員会まで)

連絡先/2005年国際婦人デー大阪集会実行委員会 ☎06-6761-0182(新婦人大阪府本部)

記念講演

「9.11 サバイバーとして」
堤 未果さん
(著作者/通訳者)

ミニコンサート
府立春日丘高校
音楽部

